

TAMA THE CLASSIC PEDAL (HP50)

取り扱い説明書

この度は TAMA ドラムペダルをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品の機能を十分発揮し、安全にお使い頂くために、ご使用前に必ず本説明書をお読みください。また、本書は大切に保管してください。

付属品

- 本説明書 x1
- 安全にお使いいただくために(注意書き) x1
- ドラムキー x1

セッティング方法

- メーカー出荷時は図2の状態です。ご使用になるには、まず T ナット(A) を緩め、スプリングアームを立ち上げます。図3のようにスプリングアームとフレーム上の目印が一直線になる位置で(A)を再び締めて固定してください。
- T ボルト(E)を緩めてフープクランプを開いてバスドラムフープを挟み、再び(E)を締めて固定します。

スプリングテンションの調整

- ロックナット(C)を時計回りに回して緩めます。
- 図4のように、スプリングアームの上端を親指で押しながら、人差し指と中指でロックナットを押し上げます。
- ロックナットを押し上げた状態で調整ナット(B)を時計回りに回すと、スプリングテンションが強くなります。お好みのテンションでロックナットを反時計回りに締め付けてください。

ポスト高さの調整 (図5~6)

- このドラムペダルは使用するバスドラムの口径に合わせて、フレームの高さを調整することが可能です。特に18"口径のバスドラムに対しては、リフターを使用したり、ピーターシャフトの長さを変えたりしなくても、ヘッドの中心をヒットする事が出来るという利点があります。
- 二つの角頭ボルト(D)を緩めると、ポストの高さを上下に調整することが出来ます。お手持ちのバスドラムヘッドの中心にピーターが当たる事を目安に高さを調整してください。お好みの高さが決まったら再び(D)を締めます。
- ポストの手前側には、調整の目安として図6に示した4つの印があります。
 - ① 点 : 18" 径のバスドラムに適したもっとも低い位置です。
 - ② 短いライン
 - ③ 中間のライン
 - ④ 長いライン : 22" 径のバスドラムに適した一番高い位置です。
- ポストの高さが決まったら、それに応じてフットボードの角度(チェーンの長さ)を調整してください。

フットボード角度(チェーン長さ)の調整(図6~8)

- 図8に示した角頭ボルト(F)を緩めて、チェーンカバーを外します。
- 図7のように、チェーンカバーを外したスプロケット上部にも図6と同様の印があります。一番低い①の高さを選んだ時には、チェーンの端をスプロケットの一番手前の点の印の位置に合わせてください。その他の高さを選んだ場合もスプロケット上の同じ印の所がフットボード角度(チェーン長さ)の推奨位置ですが、①以外の場合はお好みで調整して頂いて構いません。

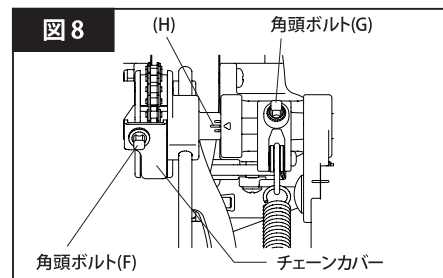
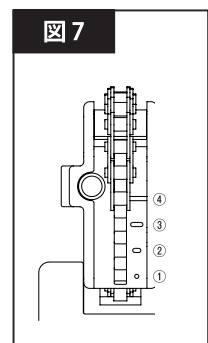
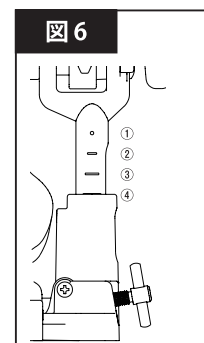
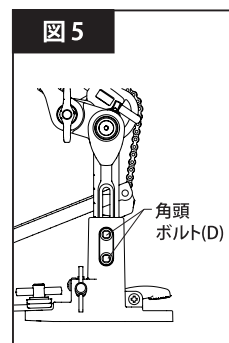
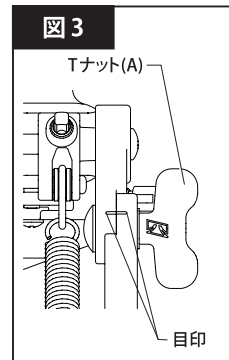
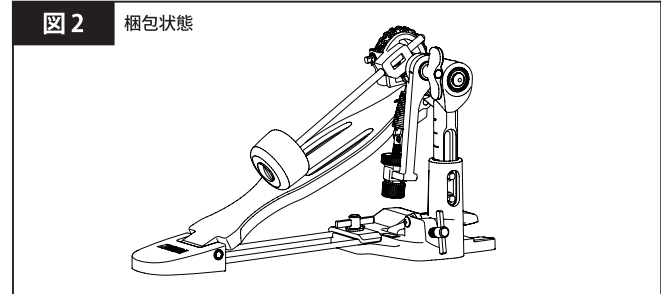
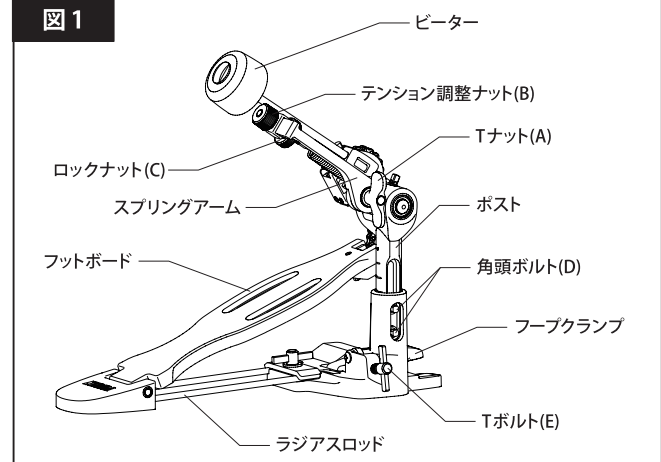
ピーター角度の調整

- 図8の角頭ボルト(G)を緩めると、ピーター角度とフットボード角度を連動して調整できます。
- シャフト上の長い印(H)がメーカー出荷時の角度です。お好みの角度が決まったら再び(G)を締めて固定します。

収納、運搬方法

- 別売りのバッグ等にペダルだけを入れて収納、持ち運びをされる際には、T ナット(A)を緩めて、スプリングアームを畳み、図2の梱包状態にされる事をお勧めします。

各部の名称



TAMA® HOSHINO GAKKI CO., LTD.
星野楽器株式会社 〒461-8717 愛知県名古屋市中区栄木町 3-22
<http://www.tama.com/>

■ この取り扱い説明書は 2017年11月現在のものです。製品改良のために仕様変更をすることがありますので、あらかじめご了承ください。

TSHP5017K